

謹賀新年

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

令和六年 元旦

阿部敏雄(敏翁)

以下の話題二つで新年の御挨拶に代えさせて頂きたいと思います。

私の身体の状態は、寄る年波、コロナ禍と足の疾患が重なり、杖を使っても短距離しか歩けず、近間でも車(運転継続中、安全サポカーに乗換え)の利用が専らです。大型スーパー、図書館、旧東芝病院等々。それでテレビや読書で過ごす事が多くなっています。

1. テレビ、スマホ

将棋と韓国時代ドラマが主になっています。

1.1 将棋 65” TVではアベマTV、YouTube、スマホでは日本将棋連盟

ライブ中継で主に藤井八冠の対局を「観る将」しています。

また秋口から、もう一人伊藤匠七段という天才が勝ちまくっていて、先日の竜王タイトル戦(二日制)に続いて、新年2月4日(日)から藤井棋王にタイトル挑戦します。竜王戦は4連敗でしたが、今度の棋王戦は4時間制なので、八冠は持ち時間の短い戦いほど勝率が低く(と言ってもほぼ8割と高いですが)、熱戦を期待したいところで、大いに楽しみにしています。

1.2 韓国時代ドラマは、オクニョ、チャンダム…、トンイ等々、BS系のテレビで放映しています。

またこの元日からはイ・ソンが始まっています。(BS朝日)

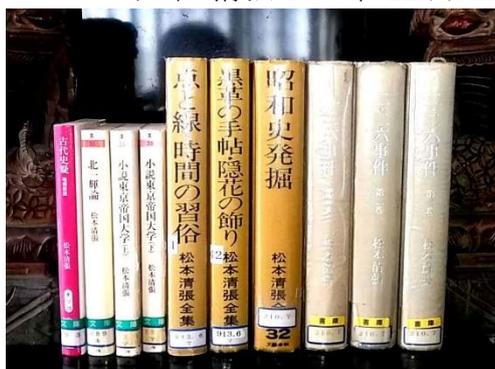
2. 読書

松本 清張 190年12月21日-1992年8月4日) 没後40年に当たる一昨年より

清張関係のものがTV画面に溢れていました。私も、それらの鑑賞の外、著作全体を把握する目的で約30冊ほどの作品に目を通しました。

その一部を左図にご覧に入れます。

昨年は引き続き松本清張の著作読破、とこれに併せてテレビドラマ化されたものも殆ど見えています。



昨年秋口よりは、劉慈欣著によるSF超大作『三体』三部作、全5冊、総頁2000頁余の読破、とこれに併せて三体のテレビドラマ(30話 WOWOW 全放映時間25時間余)の鑑賞等に時を過ごしています。

書籍5冊は横浜市立図書館より借用したものの。

月刊誌WOWOW 9月号にある紹介を左図にご覧に入れます。

三体のストーリーは極めて複雑ですが、関心をお持ちの方は、取りあえず下記の

あらすじ をご覧ください。
(赤下線部をクリック)

[三体、三体Ⅱのあらすじ\(*1\)](#)

[三体Ⅲのあらすじ\(*2\)](#)

本書は我々理工系の者には、読みだしたら止まらなくなるほどの傑作だと思うので紹介する次第です。

例えば、三体問題の物理学的取り扱いとその

展開、量子もつれを利用した数光年離れた場所間の即時情報伝達、等々。

*1 三体Ⅲ上 の初めに掲載されている。

*2 宝樹著 三体X(2022年初版発行 早川書房) の終わりに掲載されている。

三体 5冊読了後、本書の存在を知り、市立図書館年末終了日に借用出来ました。

宝樹(1980~)は、三体のファンだったが、本作品発表、劉慈欣(1963~)に認められるなどで著名になった新世代中国SF作家の一人。

三体Xの中身は、主に、三部作(とくにⅢ『死神永生』)で描かれなかった空白部分の補完と謎解き。三部作を読み終えたあとに残るさまざまな疑問を、(ありえたかもしれないその後の物語というかたちで)時に鮮やかに、時に強引に解決し、(三体)ファンならだれもが見たいと願うようないくつかの場面を果敢に描いている。

(訳者あとがきより)

本あらすじ は、多分訳者(大森望)が書いたものと思われます。

